



北海道のシーカヤックルート取材プロジェクト について (2022年～2024年)

他も随時取材する予定。また、レベルは天候の好条件だという前提で、海の知識やシーカヤックの基本的な操作方法（再乗艇、回転、ロール、グループレスキューなど）ができることを大前提にしている。

要旨 北海道の本格的なアウトドア情報を英語で発信するウェブサイト「HokkaidoWilds.org」は、2022年5月～2024年10月の間、北海道のシーカヤックフィールドを代表する20本近くのシーカヤックルートを取材し（表1）、公開する予定である。HokkaidoWilds.orgは2018年創立以来、300本以上の道内夏登山ルート、カヌールート（川と湖）、自転車ツーリングルート、スキー登山ルートを公開してきたが、これから取材するシーカヤックルートも同様に、エキスパートなアドベンチャートラベラーが求める高精度な英語表記地形図／海図、詳細なルート情報、高クオリティーな写真などを提供する予定である。北海道の本格的なシーカヤックルートを英語で発信することにより、北海道の美しい海岸の景色を国内外の英語話者に伝えることとともに、北海道のグリーンシーズンのアドベンチャーツーリズムの魅力を高め、北海道をデスティネーションとして選ぶ欧米豪新のアドベンチャートラベラーを増やすことを目的としている。

表1 取材予定のシーカヤックフィールド

番号	フィールド	距離	所要時間	レベル
1	オタモイ海岸（青の洞窟）	9km	3時間	初級
2	雷電岬（滝と洞窟）	4km	1時間	初級
3	利尻島（ペシ岬）	2km	1時間	初級
4	知床半島（男の泪）	6km	2時間	初級
5	神威岬	4km	1時間	中級
6	野付半島	20km	1日間	中級
7	塩谷河岸（小樽～蘭島）	20km	4時間半	中級
8	積丹岬（美国～入舸）	14km	3時間半	中級
9	岩部海岸（福島町～知内町）	10km	3時間半	中級
10	函館山（住吉～入船）	8km	3時間	中級
11	地球岬（室蘭）	7km	2時間半	中級
12	奥尻島（稲穂岬～青苗）	38km	2日間	中級
13	室蘭海岸（絵鞆～イタンキ浜）	15km	3時間半	上級
14	天売島一周	12km	5時間	上級
15	焼尻島一周	12km	5時間	上級
16	襟裳岬（東洋～北の浜）	8km	3時間	上級
17	礼文島（元地～船泊）	28km	2日間	上級
18	知床半島一周（相泊～ウトロ）	62km	5日間	エキスパート



HokkaidoWilds.org シーカヤックルートデータベースの特徴

- GPS ナビゲーションで利用できる GPX と KML ルートファイルの提供
- 印刷できる英語地名表記の PDF 地形図（国土地理院基盤地図データをベースに HokkaidoWilds.org 自作）
- 出艇や上陸場所や公共交通機関情報
- シーカヤックに関連する漁港などの条例の説明
- 現在地からルート検索
- 写真付きの詳細なルート案内
- ルート付近の温泉情報
- 安全情報やよくある質問

アイヌ語の地名表記 HokkaidoWilds.org では、取材する場所（山、川、湖、岬など）の名前は英語、日本語、アイヌ語、3 言語で表記するように努めている。HokkaidoWilds.org では、アイヌ民族の歴史的、現代的な文化遺産としての存在を応援している。

シーカヤックルート取材メンバー

☑ **ROB THOMSON** (男、41 歳) – HokkaidoWilds.org 代表

トムソン・ロバートは 14 年間に日本に滞在しており（北海道は 10 年間）、札幌市にある北星学園大学文学部の専任教員として勤めている（専門分野はデジタルマーケティングを含むメディア・コミュニケーション論）。HokkaidoWilds.org のウェブ開発の担当に、ルート取材（撮影、執筆など）の担当もしている。以前自転車でユーラシア大陸を単独で横断するほか、ギネス世界記録の保持者（スケートボードによる最長の旅—12,159km）でもある。日本語は支障なく機能できる（日本語能力試験 1 級、修士論文は日本語で執筆した）。北海道大学文学研究科修了（修士課程、博士課程）。国籍はニュージーランド。野外資格：スイフトウォーターレスキューテクニシャン（SRT1）、雪崩講習 AST 2。

☑ **HAIDEE THOMSON** (女、40 歳)

トムソン・ヘイディ氏は 12 年間に日本に滞在しており（北海道は 11 年間）、札幌市にある北星学園大学文学部の専任教員として勤めている（専門分野は応用言語学）。HokkaidoWilds.org の企画や写真撮影に携わっている。日本語はほぼ支障なく機能できる（日本語能力試験 2 級）。国籍はニュージーランド。野外資格：スイフトウォーターレスキューテクニシャン（SRT1）。

☑ **CHRIS AULD** (男、43 歳)

主にニセコ周辺のマウンテンバイク、スキー登山、ホワイトウォーター（川下り）の取材を担当し、データ処理やウェブサイト運営にも貢献。元ニュージーランド・ホワイトウォーター・カヤック代表。マクrosoft社のアジア地域マネージャーでシンガポール在住だが、年に 10 回程度北海道を尋ねている。多数のアウトドア資格を保持（カナダヘリスキーガイド、スイフトウォーターレスキューテクニシャン（SRT1）、スキーインストラクター、上級野外救急法など）。蘭越町に別荘を所有。国籍はニュージーランド。

☑ **GREG AND MARI**

グレッグ（カナダ人）はパドリング全般の達人と元プロガイドで、パートナーのマリさんと一緒に北海道各地でホワイトウォーターのカナディアンカヌーに乗っている。NHK の WILD HOKKAIDO! への出演も多数。

HokkaidoWilds.org の実績 北星学園大学文学部英文学科専任講師のトムソン・ロバート（北海道在住ニュージーランド人、専門はデジタルマーケティング）が 2018 年 11 月に任意団体「HokkaidoWilds.org」を立ち上げ、同団体のメンバーはこれまで多数の道内のスキー登山ルート（115 本）、自転車ツーリングルート（42 本）、夏登山ルート（83 本）、カヌールート（50 本）、

道内の山小屋（42件）を英語で紹介してきた。すべてのルートガイドは計画から執筆まで、HokkaidoWilds.orgのボランティアチームがプロデュースしている。おおよそ一週間に一本といったペースで公開している。多くの講演やシンポジウムに呼ばれており、その中でも2021年度の環境省主催の「みんなでつくる、世界を魅了する大雪山国立公園」記念シンポジウム、2021年度「ATWSキックオフシンポジウム」、「FOSS4G北海道」（地理情報システム関係）、株式会社モンベル主催の「Sea To Summit 環境シンポジウム」の講演者及びパネリストとして呼ばれ、2019年に東京で開かれた国土交通省国土地理院「GEO アクティビティコンテスト」にて、全国の応募作品の中から「北海道インバウンド旅行者山岳安全に向けた英語表記地形図（紙地図）の開発」をテーマに、「来場者賞」や「電子国土賞」の2つの賞を受賞し、2021年のGeoアクティビティコンテストでは最優秀賞を受賞。

講習を受けました。これからも HokkaidoWilds.org のメンバーのスキルアップに努めてきます。

連絡先

トムソン・ロバート（HokkaidoWilds.org 代表者）

TEL: 080-4228-6132

メール：rob@hokkaidowilds.org

インスタグラム：[@rob_tomo](https://www.instagram.com/rob_tomo)

